

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つむぎ高梁（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日 ～ 令和7年9月18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41 (回答者数)	10
○従業員評価実施期間	令和7年9月4日 ～ 令和7年9月16日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間の打ち合わせの時間を設け、役割分担や支援の内容についての共有。	・チームで運営ボードの流れを確認しながらの役割の意識や支援の中で上手くできたことや課題となる点を共有している。 ・社内の共有グループウェアを活用し、必要な情報を全職員が確認できる仕組みを作っている。	・チーム支援の流れとして特に必要な項目などについて、情報を休みのスタッフにも共有を行う。
2	・外部機関や法人内の研修の機会を設け、支援についての検討の機会の推進。	・氷山モデルなどの特性に焦点をあてた支援を意識し、必要な支援をチームで考えていく機会を大切にしている。	・氷山モデルなどの特性や支援のアイデアなど、発言しやすい機会を作り、様々な意見の中で支援を実践する。
3	・保護者からのご要望を聞いた中で、チームで共有し、実践への取り組み。	・保護者からの要望や具体的な事例をお聞きした内容を個別ワークの中で取り組みを行っている。 ・視覚的なツールやロールプレイを大切に、実生活に活かせるように意識を行っている。	・ICTなどを活用し、より実践的でイメージしやすい取り組みを実践する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・こどもの活動スペースの再構造化。	・各エリアの目的やねらいがあることや、個別のエリアの設定など、活動場所に比べ、必要なエリア数が多い。	・必要なエリアを分かりやすく設定すると共に運営の流れなど、こどもたちが過ごしやすい時間や場所を検討する。
2	・チームでのプログラムの立案。	・効率化や働きやすさから、こどもたちの必要な支援を個々で整理、実施する場面も多い。	・チームの支援会議の場面を活用し、各職員の意見も聞きながらチームで新たな支援や取り組み、内容の向上を高めていく。
3	・地域のこどもたちと交流する機会の提供。	・事業所の取り組みとしてこども食堂も実施しているが、地域のこどもたちの参加も少なく、公流の機会が少ない。	・徐々にこども食堂の参加者も増加していることから、地域の人と一緒に楽しめる活動の企画を大切にしていく。